

## 隈元 みちる(くまもと みちる)

専門分野/領域:臨床心理学・教育相談

### 指導方針:

基本的には、学生が自分の興味を掘り下げ、ゼミの中で共有しながらみんなで学びあいたいと考えています。

研究可能な領域・アプローチ:臨床心理学・教育相談に関わることについてであれば、一緒に学ぶことができると思います。ただし、基本的にはご自分が研究対象の一部になりますので、自身を振り返ることがいろいろなレベルで求められることを肝に銘じていただければと思います。

### 最近のゼミ生の研究:

- ・教師バーンアウトを防ぐ校内研修プログラムの効果—小規模学校の教師間の関わり方に焦点を当てて—
- ・中学生への多層指導モデル MIM を使った放課後学習プログラムの効果—読む力と学習への意識及び教員の関わりに焦点をあてて—(兵庫教育大学学校教育学研究 35 巻 pp289-299 [https://hyogo-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_uri&item\\_id=16704&file\\_id=17&file\\_no=1](https://hyogo-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=16704&file_id=17&file_no=1))
- ・「校内チーム・シェア会議」の提案とその検討(兵庫教育大学学校教育学研究 35 巻 pp269-277[https://hyogo-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_uri&item\\_id=16702&file\\_id=17&file\\_no=1](https://hyogo-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=16702&file_id=17&file_no=1))
- ・学生と児童生徒とのルールの生成の過程や学生の思いの変遷
- ・実践コミュニティにおける教員と保護者の意識変容
- ・小学校における感情への気づきを促すプログラムの作成

### ゼミの形態・内容、時間帯:

週一回 1 コマを基本とします。学部生と合同で行う場合もあるかもしれません。その場合は2コマにまたがる可能性もあります。お互いに切磋琢磨してそれぞれの研究に貢献しあいましょう。